

令和2年度 放課後等デイサービスくら 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	不明	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1			・新施設になり、活動内容にあったスペースの確保ができています。明るく、風通しの良い環境となっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1			・活動時、各部屋の利用者に目が届く配置をしている。状況に応じた加配を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1			・床、ドアなどは対応しているが、トイレは車いすでの利用には手狭。スペースを広げるためのカーテン設置を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				・毎年ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5		・方法を検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・外部や事業所内での研修会、専門書物の提供などを行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			1	・全体での話し合いの機会を増やし職員間の意思疎通を図る。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				・平日は学習支援とゲームを中心に、学校がお休みの日は工作や事業所外活動を加えて様々な体験が行えるようにしている。園庭を利用した運動遊びも行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				・集団活動は低学年児童を中心とした活動時間を設け、きめ細かな指導を確保し、全体での活動へつなげる工夫を行った。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				・出勤時、送迎前後に前日やその日にあった出来事の情報交換している。申し送りプリントで当日の連絡を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				・職員全員で、活動の様子についての保護者へのお便り、記録を作成している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				・モニタリング文書を利用し、職員全員の意見を確認できるようにした。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5				・学習支援、工作、ゲーム活動を行い、対人関係を築く力、あきらめないで課題に取り組む力を育てることを目指している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				・伊予市社協定例会へ管理者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5				・事業所からの声掛けを積極的に行っている。利用日の情報提供をするなど工夫している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5			・該当児なし ・配慮の必要な持病のある利用者は検査結果等の情報を保護者より受け取っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3			・すべての児童に対する情報共有はできていない。今後は、さらに活動を広げていくことを検討する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		5			・該当児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		1	・発達障がい者支援センターなど専門機関の研修会に参加している。 ・作業療法士によるの研修を事業所内で行ったが、今後もテーマに沿った専門員の研修の機会を増やしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4			1	・コロナ禍前はゲーム交流会を行った。児童館も利用していた。感染状況を見て再開する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				・連絡ノートの交換、送迎時の声掛けを積極的に行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1			・今後も連絡ノート、送迎時や懇談の機会を利用し、状況の把握を行い支援を行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				・契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				・悩み不安等には丁寧な助言を心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	1	・コロナ禍で難しい状況。感染状況を見て、保護者参加のイベント(夏祭り、クリスマス会)、交流会を行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				・契約時に窓口を説明、意見箱を設置し体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				・年3回くらだよりを発行している。 ・掲示板を利用し、日々の活動の様子をお知らせしている。 ・メール等により利用や行事の確認も行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				・保護者に対しては、送迎時に直接職員が情報伝達を行ったり、メール等で視覚的に連絡事項の確認ができるようにしている。 ・子どもに対してはスケジュールボード、アイパットなどを利用し、聞く、見る確認を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	2	2	・コロナ禍の現状では難しいが、どういった事業所イベントへの招待ができるか検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5				・マニュアルを事務室に掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				・年3回(火災、地震と非常食体験、不審者)訓練を行い、職員間、子どもで振り返りができている。 ・不審者に対する訓練について、警察署の指導を検討している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5				・どういった場合に身体拘束を行うか、対応方法、記録について職員間で話し合っている。 ・懇談時、保護者への確認をとっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1			・ヒヤリハット報告を積極的に行うよう注意している。 ・事例に基づき、職員会で今後の対応方法を確認している。